

～希少がんを知り・学び・集うセミナー！～

希少がん Meet the Expert

第2回 「GIST(消化管間質腫瘍)」開催レポート

2017年1月より始まった、専門医による希少がんセミナーの第2回目が、2月10日(金)、国立がん研究センター希少がんセンターにて行われました(共催:認定 NPO 法人キャンサーネットジャパン、がん情報サイト「オンコロ」)。今回のテーマは「GIST(消化管間質腫瘍/ジスト・しょうかかんかんしつしゅよう)」。講師は、国立がん研究センター中央病院・院長の西田俊朗先生、司会は「希少がんホットライン」担当看護師・加藤陽子さんです。



会場は、第1回と同様にほぼ満席(29名/がんセンター関係者・報道等を除く)となりました。希少がんは“まれながん”のため、患者が十分な情報を得ることが難しいのが現状です。参加者の中には遠方から新幹線でやって来た方もおられるなど、いかに情報を求めている人が多いのかをうかがわせました。



西田先生の講演では、GIST の基礎知識に始まり、専門病院での病理診断がいかに大切であるか、初発・再発それぞれでの治療法、3つの治療薬(イマチニブ、スニチニブ、レゴラフェニブ)の作用の仕方、遺伝子検査の利用例など、治療に関する具体的な講義に加え、「術後に患者が医師に確認すべきこと」といった、患者自身が主体となって治療にあたるために役に立つお話がありました。

続いての Q&A は、西田先生、加藤さんに、GIST 患者をサポートする NPO 法人「GISTERS」代表の西舘澄人さん、解説としてキャンサーネットジャパンの柳澤昭浩さん、オンコロの可知健太さんが加わって行われました。時間内に回答しきれないほどの質問が参加者より寄せられ、時折、冗談など交えながら和やかにディスカッションは進められました。質問は、「地方に居住する GIST 患者が適切な医療を受けるための対処法」や、「治験情報の探し方」「合併症がある場合に国立がん研究センターを受診できるのか」など。西舘さんは「GISTERS には、実際に治験に参加した人もいるため生の声を聞けます。ご相談ください」とお話されていました。



参加者からは、「エキスパートの先生から貴重な話を聴いただけでなく、患者会の方のお話もあってとても参考になった」「関係者の方が真摯(しんし)に対応する姿を見ることができた」「前向きに治療を進める希望が持てた」などの声がありました。今回のセミナーでは、知識を得る以上の意義を感じてくださった方が多数いたようです。



(開催日:2017年2月10日/写真・文 木ロマリ)

【共催】

国立がん研究センター希少がんセンター/認定 NPO 法人がんネットワークジャパン/がん情報サイト「オンコロ」

【後援・運営協力】

株式会社かるてぽすと/樋口宗孝がん研究基金/株式会社クリニカル・トライアル/株式会社クロエ